



【先週 1月16日～1月22日の外食の出来事】

■吉野家ホールディングス、第3四半期(2021年3月～11月)の連結業績

2022年2月期 第3四半期の連結業績を発表。売上高1134億7500万円(対前年同期比10.6%減)、営業利益13億9500万円(-)、経常利益110億9200万円(-)、四半期純利益61億5300万円(-)と減収も増益を確保。

■イトアンドホールディングス、第3四半期(2021年3月～11月)の連結業績

2022年2月期 第3四半期の連結業績を発表。売上高228億2800万円(対前年同期比-)、営業利益6億2900万円(-)、経常利益11億3900万円(-)、親会社株主に帰属する四半期純利益5億3000万円(-)であった。

■日韓バーガーキング、香港ファンドが売却 コロナ下好調

香港の投資ファンド、アフィニティ・エクイティ・パートナーズは日本と韓国のバーガーキング事業を売却することを決めた。バーガーキングは日本で約150店、韓国で約440店と両国で計600店近くを展開する。

■サイゼリヤ、第1四半期(2021年9月～11月)の連結業績

2022年8月期 第1四半期の連結業績は売上高339億6100万円(対前年同期比3.6%増)、営業損失2億1900万円(-)、経常利益36億3900万円(同703.0%増)、四半期純利益24億5600万円(同881.5%増)であった。

■大庄、第1四半期(2021年9月～11月)の連結業績

2022年8月期 第1四半期の連結業績を発表。売上高74億9200万円(対前年同期比20.9%減)、営業損失19億4000万円(-)、経常利益15億3900万円(-)、四半期純利益16億9000万円(-)であった。

■串カツ田中HD、2021年11月期(2020年12月～2021年11月)の連結業績

2021年11月期 通期の連結業績を発表。売上高49億8300万円(対前年同期比42.8%減)、営業損失25億8200万円(-)、経常損失5億400万円(-)、親会社株主に帰属する当期純損失5億7700万円(-)であった。

■吉野家HD、マレーシアのすしチェーン株 27億円で売却

吉野家ホールディングスは、持ち分法適用会社のマレーシアにあるすしチェーンの全株式を4月に売却する。売却額は約27億円。新型コロナウイルス禍が長期化し、マレーシアでも度重なる行動制限などで外食産業は厳しい。

■コメダホールディングス、第3四半期(2021年3月～11月)の連結業績

2022年2月期 第3四半期の連結業績は売上収益246億5200万円(対前年同期比16.1%増)、税引前利益58億400万円(同38.0%増)、四半期利益39億4300万円(同38.1%増)と増収増益を確保した。

■SFPホールディングス、第3四半期(2021年3月～11月)の連結業績

2022年2月期 第3四半期の連結業績を発表。売上高64億6200万円(対前年同期比53.2%減)、営業損失66億5500万円(-)、経常利益27億8000万円(-)、四半期純利益21億8400万円(-)であった。